

総務

一 目 統 計

(2町消防事務受託分含む)

消 防 予 算	5,026,048,000 円 (市予算 4.3%)
一 般 会 計 総 予 算	118,390,000,000 円
消 防 職 員 定 数	361 人 以 内
市 職 員 定 数	3,000 人 以 内
人 口 (委 託 2 町 含 む)	337,267 人
人口の最も多い地区 (四日市市)常磐地区	27,963 人
人口の少ない地区 (四日市市)水沢地区	3,303 人
消 防 車 両 等	
(常 備) はしご自動車	2 台
化学消防自動車	2 台
水槽付ポンプ自動車	8 台
消防ポンプ自動車	6 台 (救助工作機能付1台含む)
小型動力消防ポンプ付水槽車	1 台
大型化学高所放水車	1 台
はしご機能付高所放水車	1 台
泡原液搬送車	2 台
救助工作車	2 台
高規格救急自動車	12 台
大容量送水ポンプ車	1 台
大型放水砲車	1 台
その他車両	38 台
(非常備) 消防ポンプ自動車	25 台
水槽付ポンプ自動車	1 台
消防ポンプ積載車	1 台
資機材搬送車	2 台
参 考 (受 託 2 町 非 常 備)	
(朝日町) 水槽付ポンプ自動車	1 台
可搬式ポンプ積載車	5 台
救助資機材搭載型車両	1 台
(小型動力消防ポンプ積載車)	
(川越町) 水槽付ポンプ自動車	1 台
可搬式ポンプ積載車	11 台
救助資機材搭載型車両	1 台
(小型動力消防ポンプ積載車)	

平成26年度・27年度消防費歳出予算(当初額)

(千円)

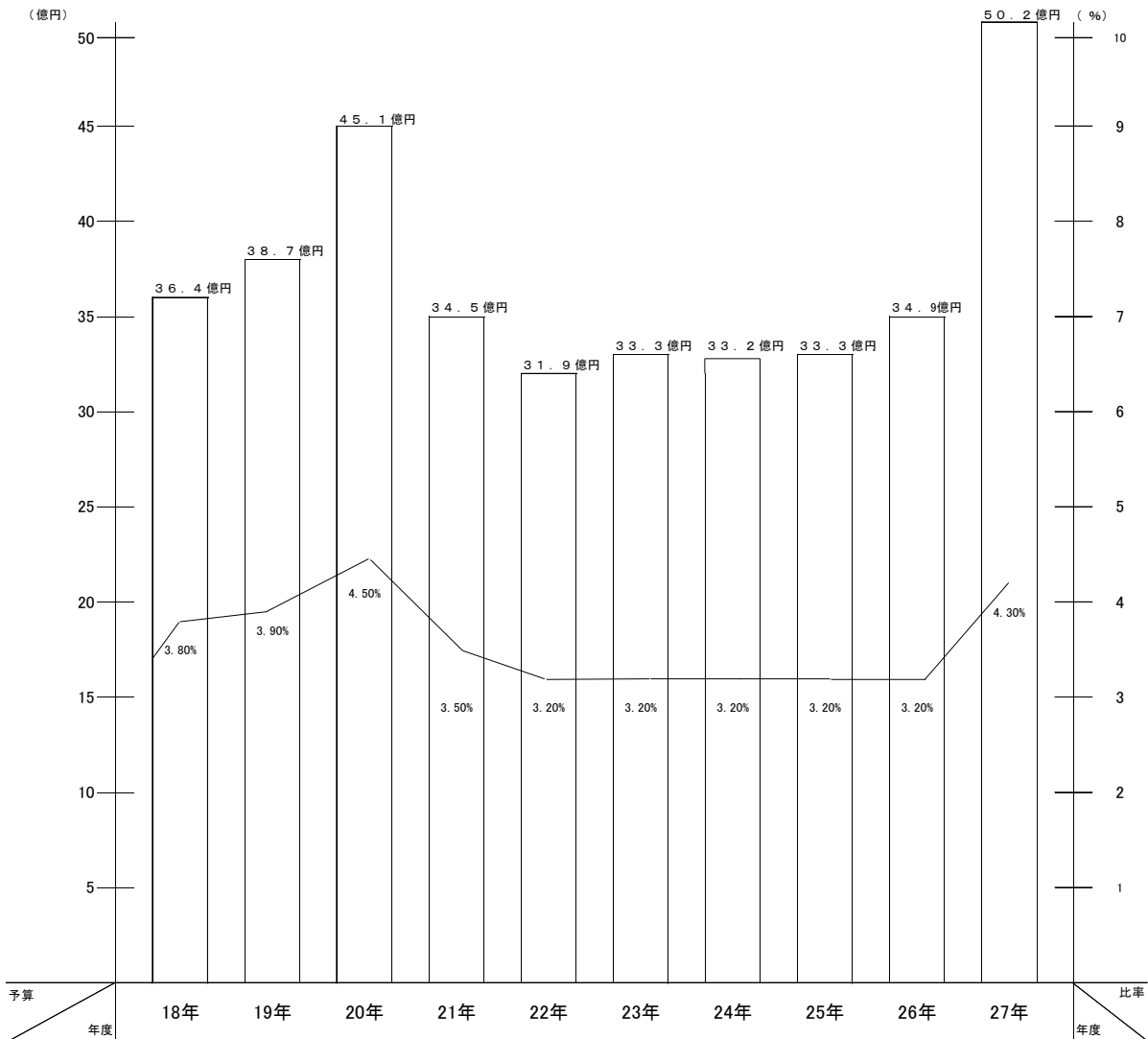
款 項 目	節	平成26年度	平成27年度	比較増△減
消 防 費		3,497,664	5,026,048	1,528,384
消 防 費		3,497,664	5,026,048	1,528,384
常備消防費		3,192,050	3,131,147	△ 60,903
	給 料	1,222,957	1,225,892	2,935
	職 員 手 当	1,189,810	1,141,592	△ 48,218
	共 濟 費	413,059	419,987	6,928
	賃 金	1,315	1,330	15
	報 償 費	19,360	24,567	5,207
	旅 費	5,913	6,476	563
	交 際 費	0	0	0
	需 用 費	145,750	108,218	△ 37,532
	役 務 費	8,594	9,371	777
	委 託 料	72,225	78,556	6,331
	使用料及び賃借料	5,070	5,348	278
	工 事 請 負 費	300	10,000	9,700
	原 材 料 費	50	50	0
	備 品 購 入 費	14,665	9,990	△ 4,675
	負担金補助及び交付金	75,446	71,234	△ 4,212
	補償補填及び賠償金	17,500	18,500	1,000
	公 課 金	36	36	0
非常備消防費		138,038	144,576	6,538
	報 酬	17,442	17,442	0
	共 濟 費	1,178	1,178	0
	災 害 補 償 費	2,000	2,000	0
	報 償 費	12,420	12,420	0
	旅 費	70,838	65,837	△ 5,001
	交 際 費	0	0	0
	需 用 費	11,415	22,771	11,356
	役 務 費	4	4	0
	委 託 料	1,636	1,841	205
	使用料及び賃借料	455	564	109
	工 事 費	0	0	0
	備 品 購 入 費	80	80	0
	負担金補助及び交付金	20,570	20,439	△ 131
	補償補填及び賠償金	0	0	0
消防施設費		166,450	1,748,793	1,582,343
	需 用 費	0	0	0
	役 務 費	200	2,350	2,150
	委 託 料	10,150	43,450	33,300
	使用料及び賃借料	0	0	0
	工 事 請 負 費	78,100	1,340,400	1,262,300
	公有財産購入費	0	76,500	76,500
	備 品 購 入 費	78,000	286,093	208,093
	負担金補助及び交付金	0	0	0
水 防 費		1,126	1,532	406
	報 償 費			0
	旅 費			0
	需 用 費	650	962	312
	委 託 料	0	0	0
	工 事 請 負 費	0	0	0
	原 材 料 費	476	570	94
	備 品 購 入 費			0
	負担金補助及び交付金			0

消防費に対する人口世帯当り額

	消防費（千円）	人口（人）	世帯	1人当り額（円）	1世帯当り額（円）
平成23年度	3,326,125	338,041	137,504	9,839	24,189
平成24年度	3,315,899	337,976	138,537	9,811	23,935
平成25年度	3,327,122	337,400	139,573	9,861	23,838
平成26年度	3,497,664	337,162	140,956	10,374	24,814
平成27年度	5,026,048	337,267	142,518	14,902	35,266

過去10年間の消防費の推移

%は、市一般会計予算額に対する消防費の比率



消 防 職 員 の 推 移

(平成27年4月1日現在)

年 度 別	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
定 員	320	320	320	320	361	
実 員	消防吏員	315	314	316	316	315
	再任用/その他の職員	6	6	5	5	11
	合 計	321	320	321	321	326
消防職員定員増減	0	0	0	0	41	

(県出向職員・再任用・その他の職員は合計数に含む 市長部局への出向職員・嘱託職員は合計数に含まず)

消 防 職 員 特 殊 技 能 資 格 取 得 状 況

(平成27年4月1日現在)

階 級 別 資格種別		合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
自 動 車 免 許	大 型	243		3	16	30	67	112		15
	け ん 引	9				1	6	1		1
	大 型 特 殊	9				2	3	4		
自動車整備士		5				1	2	2		
海技士(航海)		1				1				
海技士(機関)		1			1					
小型船舶操縦士1級		10			2	2	4	1		1
小型船舶操縦士2級		38			4	5	9	16		4
小型移動式クレーン		243		3	9	18	43	125		45
玉掛資格		300		6	15	35	65	134		45
ガス溶接資格		261		3	11	30	60	133		24
無 線 技 師	第2級海上特殊無線技士	7				1	3	2		1
	レーダー級海上特殊無線技士	6				1	3	2		
	第2級陸上特殊無線技士	314	1	7	19	35	70	138		44
救 急	救急I課程	18	1	4	4	5		4		
	救急II課程(標準課程含む)	235		2	10	22	56	100		45
	救急救命士	72		1	5	9	14	42		1
応急手当指導員		315	1	7	19	36	70	138		44
第2種衛生管理者		24		5	6	5	6	2		
酸素欠乏危険作業主任者		48		1	6	16	16	8		1
潜水士		39				1	12	20		6
予 防 技 術 資 格 者	防火査察	37	1	4	7	9	8	8		
	消防用設備	20		2	3	7	4	4		
	危険物	29	1	2	5	8	6	7		
危 険 物 取 扱 者	甲種	11		2	1		2	5		1
	乙種	199		1	7	10	34	102		45
消 防 設 備 士	甲種	5		1	1			3		
	乙種	10		1	2	2	3	2		
防火対象物点検資格者		3				2		1		
非破壊検査技術者		2					1	1		

階級別・所属別消防職員配置状況

(平成27年4月1日)

階級別		合	消	消	消	消	消	消	消	消	事務
所属別		計	防	防	防	防	防	防	防	防	吏
合		計	正	監	司	司	司	士	副	士	員
計		326(14)[5]<13>⑩(1)●	1	7[2]	17(1)[2]	36(1)	69(1)<3>	139<5>⑩		56(11)<5>	1(1)●
消	消 防 長	1	1								
	副 消 防 長	2		2							
	警 防 技 監	0									
	政策推進監兼同和行政推進監	1			1						
	小 計	23(14)<1>[1]⑩(1)		[1]	2(1)	2(1)	4(1)	3①		11(11)<1>	1(1)
	総 務 課	[1]		[1]							
	課 長 補 佐	1			1						
	総 務 課 付	14(14)<1>			1(1)	1(1)	1(1)			11(11)<1>	
	総 務 係	3				1	1	1			
	装 備 係	3					2	1			
課 員	2①(1)						1①			1(1)	
防	消 防 救 急 課	22[1]<1>①		[1]	2	3	8	9<1>①			
	課 長 補 佐	[1]		[1]							
	警 防 係	1			1						
	地 域 安 全 係	15				1	7	7			
	救 急 救 命 室	2①				1	1	1①			
	小 計	3<1>			1	1	1	1<1>			
	セ ン タ ー	[1]●			[1]						●
	所 長	[1]			[1]						
	所 員	●									●
	予 防 保 安 課	17<1>②			1	2	3	2	9<1>②		
課 長 補 佐	1		1								
予 防 係	2			2							
保 安 係	3				1		2				
安 全 指 導 係	5<1>				1	1	3<1>				
小 計	6②				1	1	4②				
本 部	情 報 指 令 課	15		1	3	2	4	5			
	課 長 補 佐	1		1							
	指 令 係	3			3						
	小 計	11				2	4	5			
	中 本 署	110[1]<5>②			1	4[1]	10	29<2>	46(2)②		20<1>
	小 計	62[1]<3>②			1	[1]	7	13<1>	29<1>②		12<1>
	署 長	1		1							
	副 署 長	[1]			[1]						
	指 導 係	6<1>②				1	1	4<1>②			
	消 防 救 助 係	43				3	10	19		11	
救 急 係	12(2)				3	2<1>	6		1<1>		
消 防 署	中 央 分 署	31(2)			2	2	8<1>	11<1>		8	
	分 署 長	1			1						
	副 分 署 長	1			1						
	分 署 員	29(2)				2	8<1>	11<1>		8	
	西 分 署	16			1	1	8	6			
	分 署 長	1			1						
	分 署 員	15				1	8	6			
	港 分 署	1			1						
	分 署 長	1			1						
	分 署 員	1			1						
北 消 防 署	小 計	77<4>②			1	2	10	11<1>	40(1)②		13(2)
	署 長	58<4>②			1	1	7	7<1>	30(1)②		12(2)
	副 署 長	1		1							
	指 導 係	1			1						
	消 防 救 助 係	5<1>②				1		3②		1<1>	
	救 急 係	39(3)				3	7<1>	20<1>		9<1>	
	小 計	12				3	3	7		2	
	朝 川 分 署	19			1	3	4	10		1	
	分 署 長	1			1						
	指 導 係	2				1				1	
消 防 係	16				2	4	10				
南 消 防 署	小 計	58<1>②			1	1	6	11	27②		12<1>
	署 長	1		1							
	副 署 長	1			1						
	指 導 係	5<1>②				1	1	2②		1<1>	
	消 防 救 助 係	39				3	8	17		11	
救 急 係	12				2	2	8				
市 長 部 局 へ 出 向		4			2		1	1			

()は県派遣職員および消防学校入校職員、<>は女性消防吏員、○数字は再任用職員、{ }はその他の職員をそれぞれ内数で表す。市長部局への出向職員、●数字の嘱託職員は合計数に含まず。 []は兼務である。

消 防 職 員 年 令 別 分 布

(平成27年4月1日現在)

階級別 年令	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合 計	326	1	7	17	36	69	139	0	56	1
18	3								3	
19	3								3	
20	1								1	
21	1								1	
22	6								6	
23	4								4	
24	6								3	
25	3						1		5	
26	5								5	
27	7						2		5	
28	7						4		3	
29	8						6		2	
30	15						12		3	
31	15						9		6	
32	17						14		3	
33	18						15		3	
34	8					1	7			
35	10					3	7			
36	9						9			
37	5					3	2			
38	9					6	3			
39	11					4	7			
40	8				2	2	4			
41	7				2	4	1			
42	8				3	3	2			
43	11				3	6	2			
44	12				2	6	4			
45	8			1	2	1	4			
46	10					4	6			
47	12				4	3	5			
48	4					2	2			
49	5				3	2				
50	8			3	3	2				
51	5			1	1	3				
52	3			1		1	1			
53	8			2	3	3				
54	5		1	1	2	1				
55	2				1	1				
56	8		1	4	1	2				
57	5		1	3		1				
58	11	1	2	1	3	4				
59	4		2		1	1				
60	6						6			
61	1						1			
62	3						3			
63	1									1

(県出向職員・再任用・その他の職員は合計数に含む 市長部局への出向職員、嘱託職員は合計数に含まず)

平均年齢 39.7 歳

消 防 職 員 勤 続 年 数 別 分 布

(平成27年4月1日現在)

階級別 勤続年数	合 計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	事 務 吏 員
合 計	326	1	7	17	36	69	139	0	56	1
0～1	11								11	
1～2	4								4	
2～3	5								5	
3～4	6								6	
4～5	4								4	
5～6	5						1		4	
6～7	17						8		9	
7～8	28						18		10	
8～9	20						18		2	
9～10	12						12			
10～11	13						12		1	
11～12	8					1	7			
12～13	7					1	6			
13～14	9					2	7			
14～15	7					2	5			
15～16	7					5	2			
16～17	3					3				
17～18	14				3	5	6			
18～19	4				1	1	2			
19～20	11				1	4	6			
20～21	6				2	4				
21～22	6				1	3	2			
22～23	12				1	8	3			
23～24	26			1	7	9	9			
24～25	5				2		3			
25～26	4				1	2	1			
26～27	3				1	2				
27～28	0									
28～29	8			3	2	2	1			
29～30	2			1		1				
30～31	0									
31～32	2				2					
32～33	6		1	1	2	2				
33～34	10	1		2	3	4				
34～35	9			4	3	2				
35～36	12		2	2	3	4	1			
36～37	7		3	1	1	1	1			
37～38	3					1	2			
38～39	5		1	1			3			
39～40	2			1			1			
40～41	1						1			
41～42	0									
42～43	1						1			
43～44	1									1

(県出向職員・再任用・その他の職員は合計数に含む 市長部局への出向職員、嘱託職員は合計数に含まず)

平均勤続年数 17.1 年

消 防 車 両 配 置 状 況

(平成27年4月1日現在)

区分 所属別		消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	朝日川越分署	北西出張所	南消防署	西南出張所	防災教育センター	合計	消防団
消 防 車	消防ポンプ自動車	-	1	1	-	-	1	-	1	-	1	-	5	25
	救助機能付消防ポンプ自動車	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	
	水槽付ポンプ自動車	-	1	1	2	-	2	1	-	1	-	-	8	1
	化学消防ポンプ自動車	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	2	
	小型動力消防ポンプ付水槽車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	はしご自動車	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	
	はしご機能付高所放水車	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	
	大型化学高所放水車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	泡原液搬送車	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	
	救助工作車	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	
	消防ポンプ積載車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	1
	大容量送水ポンプ車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
	大型放水砲車	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
高規格救急自動車	-	3	1	1	-	2	1	1	2	1	-	12		
そ の 他 の 車 両	指揮車	2	1	-	-	-	1	-	-	1	-	5		
	支援車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	水難救助車	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1		
	泡原液運搬車	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	資機材搬送車	1	-	1	-	-	1	-	-	1	-	4	2	
	火災原因調査車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	立入検査車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
	広報車	6	1	1	1	1	1	1	-	1	-	13		
	防災指導車	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	
	救急普及啓発車	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1		
	軽四トラック	-	1	-	1	-	1	1	-	1	-	5		
	乗用車	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1		
その他	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2			
合計	14	14	8	5	2	13	4	2	12	2	1	77	29	

消防用資機材配置状況

(平成27年4月1日現在)

区分 / 所属	消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	朝川分署	南消防署	合計
空気呼吸器		29	20	15		44	10	29	147
酸素呼吸器		5				5			10
エンジンカッター		4	1	3		2	1	2	13
高発泡器		1				2			3
大容量泡放射砲(1S)		1				1		1	3
可搬式放水銃		3	2	3		3	1	2	14
耐熱服		8	5			4		6	23
ガス測定器	1	6	1	1		6	1	3	19
各種測定器	4	12				10		3	29
救命ボート		3	1			1		1	6
油圧切断機		2				1		1	4
チェーンソー		2				3	1	1	7
ボートパワー		1				1			2
救命索発射銃		1				1		1	3
ガス溶断器		1				1	1	1	4
発動発電機		8	5	4	1	16	2	3	39
排送風機		2	1	2		4	1	1	11
エアソー		2	1	1		2		1	7
救助幕		1							1
油圧スプレッター		1				2		1	4
マット型空気ジャッキ		4				6		2	12
削岩機		1				2			3
耐電衣		5				5		3	13
防毒衣		8				9		15	32
マンホール救助器具		1				2			3

高度救助用資機材

画像探索機 1型		1							1
画像探索機 2型		1				1			2
熱画像直視装置		1	3			1		1	6
地中音響探知機		1							1
夜間用暗視装置		2							2
エアラインマスク		1							1
地震警報器		1				1			2
オイルフェンス	20m×10								10
潜水器具					31				31
高圧空気充てん機		1			1				2

救急用資機材配置状況

(平成27年4月1日現在)

区分 / 所属	消防本部	中消防署	中央分署	西分署	港分署	北消防署	朝川分署	南消防署	合計
AED	1	7	4	3	1	9	3	6	34
AEDトレーナー	3	7	3	2		9	3	10	37
指導用訓練人形 成人	7	11	5	9		16	12	19	79
小児	5	5	5	6		5	5	6	37
乳児	5	5	5	5		5	5	5	35
救急隊員教育訓練人形		1	1			1		1	4

平成26年度職員研修実施状況

研修別	研修名	研修日	計(人)
派遣研修	1 消防大学校		
	1 指揮隊長コース	5/15-5/23	1
	2 危険物科	6/24-7/24	1
	3 救助科	8/25-10/15	1
	4 警防科	10/21-12/10	1
	5 違反是正特別講習	12/15-12/19	1
	6 幹部科	1/13-2/27	1
	7 警防業務リーダー講習会(愛知県会場)	1/30	1
	8 高度救助・特別高度救助コース	2/12-2/25	1
	9 NBCコース	3/4-3/17	1
2 三重県消防学校	1 初任科(51期)	4/7-12/2	4
	2 救急科救急課程(17期)	9/25-11/19	4
	3 救助科水難救助課程(14期)	5/19-5/30	2
	4 特別科気管挿管追加講習(ビデオ喉頭鏡)	7/15-7/16	1
	5 特別科救急救命士処置拡大講習	7/7.8 11/4.5 3/2.3	25
	6 気管挿管フォローアップ研修	9/12	1
	7 救助科救助課程(24期)	10/1-10/31	3
	8 特別科指揮課程(2期)	12/2-10/6	4
	9 危険物科危険物課程	12/4-12/10	3
	10 特別科はしご自動車講習(21期)	12/15-12/18	3
	11 指導救命士養成研修	12/18-12/19	2
	12 初級幹部科(36期)	1/19-1/30	4
	13 予防査察科予防査察課程(6期)	1/26-2/6	4
	14 特別科救急救命士ブラッシュアップ講習①	1/10-1/23	3
	15 特別科救急救命士ブラッシュアップ講習②	2/16-2/20	3
	16 中級幹部科(23期)	2/2-2/10	4
	17 警防科警防課程(26期)	2/23-3/6	3
3 救急救命士養成所	1 救急救命東京研修所(前期) 新規養成	4/3-9/25	2
	2 救急救命東京研修所(後期) 新規養成	8/29-3/9	1
	3 名古屋市救急救命養成所 新規養成	8/18-3/9	1
4 全国市町村アカデミー	1 災害に強い地域づくり(大災害にそなえて)	6/2-6/6	1
	2 人事・組織管理とメンタルヘルス	6/23-6/27	1
	3 災害に強い地域づくりと危機管理	12/2-12/10	2
5 財団法人日本経営協会主催研修	公共用地取得の法律と税務実務	6/26-6/27	1
	6 市職員研修所が企画する研修		
1 新規採用職員研修	4/2-4/3	4	
2 新任係長級職員研修	4/17, 4/24, 5/8, 5/13	6	
3 新任課長補佐級職員研修	4/16, 4/23, 5/29, 6/3	6	
4 新任課長級職員研修	4/15, 4/25, 5/9, 5/23, 5/29	4	
5 新所属長職員研修	4/29, 5/2, 5/28-30	1	
6 準管理職候補者研修	5/1, 7/1, 7/15	10	
7 管理職候補者研修	7/8, 7/16, 7/22, 8/7, 8/8, 10/20, 10/21	3	
8 ステージ②49歳研修	5/28-5/30, 7/2	2	
9 ステージ③54歳研修	5/28-5/30, 7/2	4	
10 災害情報システム操作研修会	5/13	7	
7 全国消防長会/消防協会東海支部が主催する講習会	1 消防長研修会	9/3	1
	2 第17回日本臨床救急医学会		
	3 火災調査研究発表会	10/15	4
	4 救急コ・メディカルセミナー	10/16	7
	5 鉄道構造講習会及び訓練会	11/8	2
	6 違反是正事例研究会	11/20	4
	7 企業防災対策指導者研修会	2/20	2
8 三重県消防長会が関係する研修	1 違反是正研修会	8/25	4
	2 水難救助オープンカレッジ	10/22	2
	3 消防長研修会	11/12	7
	4 救助オープンカレッジ	11/19	3
	5 違反是正に関する事例研究会	1/30	4
	6 ステータックロープレスキューセミナーSTEP3	2/3, 2/4	1
9 危険物セミナー	1 危険物施設安全推進講習会(大阪市)	6/12	1
	2 危険物安全講習	6/12	1
	3 保安技術講習会(大阪市)	7/23, 7/24	1
	4 第14回事故の教訓と保安管理技術セミナー(大阪市)	8/21, 8/22	1
	5 事故防止対策セミナー	10/14	1
	6 統括防災要員研修会	1/20	1
	7 危険物事故事例セミナー(大阪市)	2/23	1
	8 石油コンビナート事務担当研修会(東京都千代田区)	3/2	1
10 その他派遣研修	1 三重県人権大学講座	6/3-10/28の間、全20回	1
	2 放射線の基礎とサーベイメータの使い方(入門編)	6/19	3
	3 調査技術会議(名古屋)	7/10	5
	4 非常通信セミナー(名古屋市)	11/28	1
	5 日本救急医学会中部学術集会(第17回)(甲府市)	11/28	1
	6 消防用設備等保守点検業務研修会(津市)	12/10	1
	7 消火設備研修会(小牧市)	1/20	1
	8 救急隊員シンポジウム(相模原市)	1/29, 1/30	3
	9 三重県市町村総合事務組合主催プレゼンテーションスキルアップ研修	2/12, 2/13	1
資格取得研修	11 資格取得など		
	1 大型自動車運転免許(新規)	随時	10
	2 危険物取扱者保安講習	随時	3
	3 潜水士免許(新規)	6/6	2
	4 酸素欠乏・硫化水素危険業務作業主任技能講習	6/25-6/27	2
	5 第2種衛生管理者免許	8/26	2
	6 2級小型船舶操縦士免許(新規取得)	2/23, 2/24	2
	7 2級小型船舶操縦士免許(更新及び失効講習)	1/12, 1/18, 2/1, 2/8のうち1日	6
8 予防技術資格者(新規)	3/15	9	
視察研修	12 先進都市視察など 総務省消防庁主催 国際消防救助隊セミナー(大津市及び京都市)	12/2-12/4	1

消防プリセプターシッププログラム

プリセプター研修について

四日市市消防本部では、新人消防職員の育成と能力開発を図り、住民に質の高い消防行政サービスの維持・向上を図るため、プリセプターシッププログラムによる新人教育を実践しています。

他の業種では、看護職場が1990年初期から質の高いサービスを安定的に提供するため、新人をバックアップする体制としてプリセプターシップを取り入れています。

プリセプターシップとは、新人職員の業務遂行に必要な能力開発を効果的に効率よく達成するための、組織内教育制度です。「努力と根性」を長い間ポリシーとしてきた日本のスポーツ界でも、辛い練習を延々と続けることを強いる時代から「科学的な個別の練習メニュー」を尊重する時代になり成果を上げています。プリセプターシップに求めていることも同様です。仕事の特性と人材の特徴を捉えて、無理なく効果的に、そして達成感を味わいながら、新人職員が成長を続けていける人材教育システムがプリセプターシップです。

さらに、プリセプターシップは、新人職員だけでなく、先輩職員のキャリアアップの一環としても機能するものです。先輩がプリセプターとして後輩を教育指導することにより、対人関係能力や指導能力の成長が図られ、その役割遂行を通じて、準備や能力開発の努力をして、消防観の確立を図る効果があります。

消防本部では、消防行政サービスの維持・向上を図るため、平成20年度から「消防プリセプターシッププログラム」を策定し、新人教育体制の確立を図りました。

消防プリセプターシッププログラム策定の目的

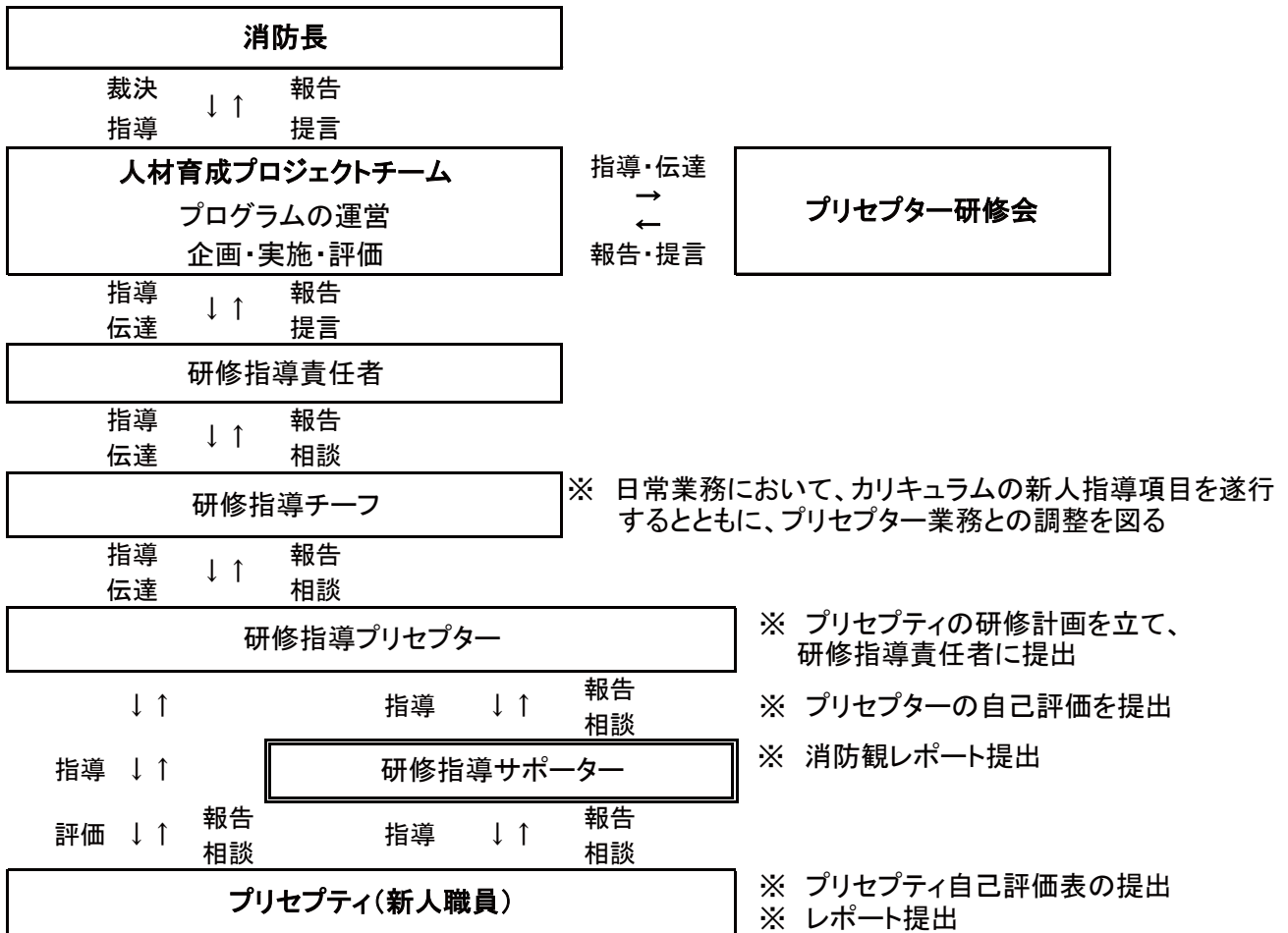
- 1 消防学校を卒業した新人消防士(プリセプティ)に対して、リアリティショックを緩和し、早く職場に適応することができるよう促す。
- 2 消防士長以上の階級職員を新人研修指導者とし、その役割遂行を通して、指導能力の育成および消防観の確立を図る。
- 3 警防・救急業務に関して、消防実践能力を習得し、消防実務者としての役割が取れるようにサポートシステムを形成する。

消防プリセプターシッププログラム運営の方法

- 1 目的の1、2については、プリセプターシップ研修プログラムを用いて、目的の達成を図る。
- 2 目的の3については、分野別指導カリキュラムを用いて、職場全体で取り組む。

プログラムの管理運営

- 1 プログラムの管理責任 消防長
- 2 プログラムの管理運営体制



3 プログラムの運営

「人材育成プロジェクトチーム」

1) 構成

責任者 総務課長
委員長 政策推進監

2) 機能

- ① 研修プログラムの運営(企画・実施・評価)を行う。
- ② 消防長に対して、プリセプターシップ研修プログラムに関する報告・提言を行う。
- ③ 研修部署の指導責任者およびプリセプター研修会に対して、指導・伝達を行う。
- ④ プリセプター研究会(隔月1回)が、自主的・効果的に運営されるよう指導する。
- ⑤ 研修部署から提出されたプリセプター評価表および指導観レポート等に基づき研修目標に対する達成度を評価する。
- ⑥ 研修プログラムの総合評価を行い、消防長に報告する。

4 各部署の指導体制

「新人職員人材育成体制」のとおり。

消防プリセプターシップ 新人職員人材育成体制

区分	役割・機能	備考
人材育成の責任者	消防長	
人材育成の運営	人材育成プロジェクトチーム	
人材育成計画・実施・評価		
研修指導責任者	所属長	
研修指導チーフ	係長	プリセプターの相談に対し、助言・指導する。
	新人職員が属する係の係長	
研修指導プリセプター	新人職員が属する係の消防士長以上で、所属長が指名する。	プリセプティーに対する研修指導担当者で、プリセプティー1人に対し、プリセプター1人の体制を原則とする。
研修指導サポーター	新人職員が属する係の採用2年目以上の職員	プリセプティーに対する研修支援・補助者
受講者	採用1年目の職員	
研修指導期間	消防学校卒業後、各所属に配属された12月から翌年の11月までの1年間	
研修指導内容	新人職員指導カリキュラム	
プリセプター養成研修	消防士長以上受講	プリセプターは必ずプリセプター養成研修を受講
プリセプターフォローアップ研修	12月から毎月実施、4月以降3ヶ月に1回実施	プリセプター・プリセプティー・チーフ・所属長

平成26年度主要記録

年	月	日	主な記事	日	その他の記事
26	4	7	初任科生入校 於：三重県消防学校 第51期生 4名が入校、12月2日卒業	11	三重県消防職員意見発表会 於：桑名市
	5	14.15	防火管理講習 甲種防火管理新規講習110名、乙種防火管理講習20名が受講	25	指揮活動訓練
		16	防災管理講習 防災管理新規講習39名が受講		
		30	防火協会総会 優良防火管理事業所として6事業所を表彰		
	6	1～30	危険物安全管理強調月間 月間中にコンビナート事業所を対象に本部で「防災診断」及び危険物保有事業所等を対象に各署で立入検査及び消防訓練を実施	6	三重県内高速道路消防連絡協議会(全員協議会)
		4	優良危険物事業所表彰 優良危険物事業所として4事業所を表彰	17	消防安全衛生委員会
		24.25.26	防火管理講習 甲種防火管理再講習19名、甲種防火管理新規講習115名が受講		
	7	4	安全講演会 『コンビナート災害における消防隊の安全管理について』 講師：姫路市消防局	30	第43回消防救助技術東海地区指導会 於：三重県消防学校
		27	第51回消防団消防操法競技大会及び防災フェスタ 於：中央緑地公園 25分団が出場し競技を実施 第1位： 神前分団 第2位： 富田分団 第3位： 水沢分団	30	愛知県消防通信連絡協議会総会 於：名古屋市役所
	8	28	石油コンビナート・海上防災訓練 於：コスモ石油株式会社四日市製油所	27	第43回全国消防救助技術大会 於：千葉県千葉市 (広島市土砂災害により中止)
				27	消防職員委員会
	9	28	市民総ぐるみ総合防災訓練 於：なやプラザ	8	第1回三重県図上訓練 於：三重県庁

10	1	安全衛生講演会 『良好なコミュニケーションについて』 講師:臨床心理士	2	第11回三重県警防技術交換会 於:三重県消防学校
			8	三重県内高速道路消防連絡協議会(研修会) 於:三重県消防学校
	25	防火ポスター・防火習字の入選者の表彰 管内の園児及び小・中学生を対象に防火ポスター・防火習字を募集し、入選者の表彰式	18, 19	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練 於:和歌山県 田辺市 串本町 白浜町
			24,27,28	警防救助技術発表会 於:県合同庁舎
11	10	特別消防訓練 於:イオン四日市北店	2	三重県総合防災訓練 於:志摩市
11.12.13		防火管理講習 甲種防火管理新規講習110名、乙種防火管理講習16名、甲種防火管理再講習27名が受講	12	消防長研修会 『緊急消防援助隊の今後について』 講師:総務省消防庁国民保護・防災部防災課 広域応援室長 於:四日市市
9~15		秋の火災予防運動 9 防火パレード	15,16	緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練 於:石川県珠洲市
12	29~30	年末特別警戒	20	三重県内高速道路消防連絡協議会(訓練) 於:伊勢自動車道 勢和多気JCT
26	1	11 平成27年消防出初式 於:四日市ドーム 市民に対し消防力を披露し防火防災意識の普及啓発を図るため実施	11	朝日町・川越町合同出初式 於:朝日町
		26 第61回文化財防火デー 文化財愛護思想と防火防災思想の高揚と貴重な文化遺産を後世に継承するため管内一円で消防訓練や立入検査等を実施		
		27 防災管理講習 防火・防災管理再講習7名が受講		
	28.29	防火管理講習 甲種防火管理新規講習110名、乙種防火管理講習12名が受講		
	2	17 特別消防訓練 於:近鉄百貨店	6	第2回三重県図上訓練 於:三重県庁
	3	1~7 春の火災予防運動	6	指揮能力向上研修

平成27年度消防重点事業

安全で安心なまちづくりに向け、消防力の強化・消防救急体制の充実をはじめ、総合的な災害対応力の向上を図ります。特に、各種災害に迅速かつ的確に対応するため、初動体制の強化、救命率の向上、火災の予防及び延焼防止対策を重点的に実施します。

1. 消防救急無線デジタル化及び新消防指令センター整備事業について

平成28年4月の運用開始に向け、消防救急無線のデジタル化する。平成26年度に整備した共通波(全国の消防車と通信可能)に加え、平成27年度は活動波(各消防本部の専用波)の整備を行うとともに、中消防署中央分署において四日市市、桑名市及び菰野町の3消防本部による共同の新消防指令センターを設置します。

2. 新消防分署整備事業について

消防車及び救急車の現場到着時間の短縮を図るため、本市の南部及び北部地域に新消防分署を設置するため、平成27年度は(仮称)南部消防分署の用地取得、造成及び設計に取り組むとともに、北部地域における候補地選定等の基本調査を行います。

3. 消防団の施設、装備の充実について

地域防災活動における中核的な役割を果たす消防団員の安全を確保するため、「消防団の装備の基準」の改正に伴い、全消防団員に防塵メガネを配備するとともに、難燃性能を有した新基準の活動服に更新します。また、消防団の活動拠点を整備するため、老朽化した消防分団車庫の改築等を行います。

4. 庁舎整備事業(アセットマネジメント)について

四日市市アセットマネジメント基本方針に基づき、消防庁舎の計画的な予防保全による長寿命化及び長期的な経費の削減に取り組みます。

5. 消防車両の整備について

更新計画に基づき老朽化した消防車両の更新を行います。平成27年度は、北消防署の水槽付消防ポンプ自動車、中消防署の消防ポンプ自動車、南消防署及び中央分署の高規格救急自動車、北消防署の広報車、中消防署及び南消防署の軽トラックを更新します。

6. 救急業務の高度化について

平成26年4月から市立四日市病院において本格稼働している救急ワークステーションでの研修を充実させるとともに、全ての救急車に救急救命士が乗車する体制を確立するため、4名の救急救命士を養成します。

7. 火災予防対策事業について

火災予防対策の強化に向け、コンビナート事業所や防火対象物等への立入検査や防火安全指導を強化するとともに、市民の防火意識の高揚を図るため、火災予防運動などの啓発活動を実施します。

8. 耐震性貯水槽整備事業について

大規模災害時における消防水利を確保するため、地下式耐震性貯水槽を整備します。平成27年度は生桑町及びときわ5丁目地内に60m³型の耐震性貯水槽を設置します。

相 互 応 援 協 定

当該市町村だけでは対処し得ない大規模広域災害や市町村境界付近で発生した災害等に対し、応援協定を締結して、円滑有効な防ぎょ活動を実施し、災害による被害を最小限にとどめるため、本消防本部においては下記に示すとおり各市町村と応援協定を締結し、消防力の効率的な運用を図っている。

(1) 消防相互応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
三重県内消防相互応援協定	平成19年3月1日 締結	四日市市長以下県内29市町長、5消防組合管理者及び三重県知事

(2) 船舶消防に関する応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
船舶消防に関する業務協定	昭和46年5月22日締結	四日市市消防本部、四日市海上保安部

(3) 高速道路における消防応援協定

協 定 名	締 結 年 月 日	協 定 市 町 村
高速自動車国道近畿自動車道名古屋亀山線、名古屋神戸線、伊勢線及び尾鷲多気線にかかる消防相互応援協定	平成25年3月19日締結	四日市市・津市・伊勢市・松阪市・桑名市・鈴鹿市・亀山市・木曾岬町・朝日町・川越町・多気町・玉城町・大台町・大紀町・紀北町・松阪地区広域消防組合・紀勢地区広域消防組合・三重紀北消防組合